



## QUARTZ CHRONOGRAPH WATCHES



## はじめに

---

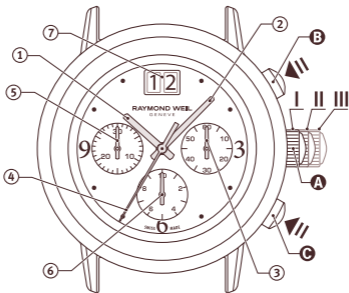
このたびは RAYMOND WEIL の時計をお買い上げいただき、ありがとうございます。このコレクションは、その創設時からのブランドの特徴である優れたデザインと常に完璧な品質を追求する姿勢を大胆に表現しています。

お買い上げの時計には高品質のクロノグラフ クォーツムーブメントが搭載されています。クォーツウォッチはきわめて高い精度が特長です。

お買い上げの RAYMOND WEIL の時計を長年にわたって完璧な状態に保つために、本取扱説明書と国際保証書に記載されている注意事項をよくお読みください。

## 説明

- |   |                  |
|---|------------------|
| ① 時針                                      | Ⓐ リューズ           |
| ② 分針                                      | Ⅰ 通常位置           |
| ③ 秒針                                      | Ⅱ 日付の即時調整        |
| ④ 秒カウンター                                  | Ⅲ 時刻の調整          |
| ⑤ 30分カウンター                                | Ⓑ 「スタート/ストップ」ボタン |
| ⑥ 1/10秒カウンターおよび<br>30分計測後からの10時間<br>カウンター | Ⓒ 「リセット/中間時間」ボタン |
| ⑦ 日付                                      |                  |



RAYMOND WEIL の特定のクロノグラフには平均時速 (km/h または他の単位) を計測することができるタキメーター目盛りが付いています。

## 使用方法

**重要：**時計の防水性を保つために、操作後には必ずプッシュボタンを位置 (I) に押し戻しておきます。



**注：**RAYMOND WEIL の時計にはねじ込み式リューズを装備しているものがあります。このリューズが装備されている場合は、調整を行う前にリューズを反時計回りに回して緩めておく必要があります。緩めるとスプリングによりリューズがリリースされます。時計の防水性を保つために、操作後には必ずリューズを位置 (I) に押し戻し、ねじ込んでください。

### 日付の即時調整

1. リューズを位置 (II) に引き出します。
2. モデルによりますが、リューズを一方向または両方向に回して希望の日付を窓に表示させます。
3. リューズを位置 (I) に押し戻します。



**注：**この操作の間も時計は作動し続けていますので、あらかじめ時刻の調整を行う必要はありません。



**重要：**午後 10 時から午前 2 時の間は日付の即時調整を行わないでください。この間は日付変更メカニズムが自動的に作動しているため、日付変更を行うとムーブメントを損傷するおそれがあります。

日付の調整は午前 3 時から午後 9 時の間に行ってください。時針と分針を回して（リューズは位置 III）希望の日付に

合わせます。時計を何回か停止させた状態にした後、針が午前／午後のいずれの時刻を指しているのかがわからなくなった場合は、同様の方法で日付の調整を行ってください。

### 時刻の調整

1. リューズを位置 (III) に引き出します。秒針が停止します。\*
  2. リューズを時計回りまたは反時計回りに回して時刻を合わせます。\*\*
  3. リューズを位置 (I) に押し戻します。秒針がふたたび動き始めます。これにより電波時計のような基準時間と同期させることができます。
- \* 秒単位まで正確に時刻を合わせるには、秒針 ③ が 60 に達したところでリューズを引き出します。
- \*\* 時針が午前零時を越えるごとに日付は 1 日分進みます。

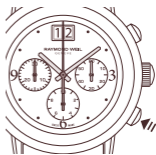


## クロノグラフの使用法

注：時間計測を始める前は常にリユーズを通常位置 (I) に押し戻しておいてください。また、時間計測を終了したら、プッシュボタン ④ を押してカウンターをゼロに戻しておいてください。

### 単一または加算時間計測

1. プッシュボタン ③ を押してクロノグラフをスタートさせます。
  2. プッシュボタン ③ をもう一度押してクロノグラフをストップさせます。経過時間または最初の計測時間がカウンター ④、⑤ および ⑥ の針で表示されます\*。
  3. 加算時間を計測するには、さらに上記の 2 つの手順を繰り返します。最後の時間計測が終了する時点で、クロノグラフは総計した時間、つまり個別計測時間を積算した時間を表示します。
  4. プッシュボタン ④ を押してカウンターをゼロにリセットします。
- \* 計測時間が 30 分を経過すると、1/10 秒カウンターは時間カウンターに変わります。



## 中間時間（スプリットタイム）計測

1. プッシュボタン **B** を押してクロノグラフをスタートさせます。
  2. プッシュボタン **C** を押します：クロノグラフは停止し、\* カウンターの針は最初の間隔時間を表示します。
  3. プッシュボタン **C** をもう一度押します。クロノグラフはスタート時から経過した時間に追いつきます。
  4. それぞれの間隔時間は同様の方法で計測します。プッシュボタン **C** を押すと、中間時間が読み取れ、プッシュボタン **C** をそこからもう一度押すとカウンターの針はさらに経過した時間に追いつきます。
  5. プッシュボタン **B** を押して時間計測を終了させ、スタート時からの総計の経過時間を読み取ります。
  6. プッシュボタン **C** を押してカウンターをゼロにリセットします。
- \* 時刻表示機能はこの間にも作動し続けています。

## タキメーター\*

1 キロメートルまたは 1 マイルを基準として、移動する車両などの平均速度を計測することができる目盛りです。

**例：**1 キロメートルまたは 1 マイルの距離の出発時点でクロノグラフをスタートさせ、この距離を移動し終えた時点でストップさせます。この距離の移動に 20 秒かかった場合の平均速度は、180 km/h または 180 mph になります。



**注：**この計測のクロノグラフでの表示の限度は 60 秒です。

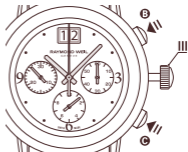
\* モデルによる



## カウンターの針の調整

電池交換後は、1本または複数のクロノグラフ針が正確にゼロを指していない場合があります。このような場合には、次の手順で針を調整します。

1. リューズを位置 (III) に引き出します。
  2. プッシュボタン **B** と **C** を同時に2秒以上押します。秒カウンター **④** が1回転し、カウンター調整モードが作動状態になったことを示します。
  3. プッシュボタン **B** を押して\* カウンターの針を進めます。
  4. プッシュボタン **C** を押して次のカウンターの調整に移ります。
  5. それぞれのカウンターについて上記の2つの手順を繰り返します。
  6. 調整が終わったら、リューズを位置 (I) に押し戻します。
- \* プッシュボタンを短く押すと逐次的に、長く押すと連続的に針が動きます。



## 推奨事項

---

お買い上げの RAYMOND WEIL の時計は平均寿命 36 ヶ月の電池により作動します。電池の寿命はクロノグラフの使用頻度に左右されます。電池の寿命を延ばすには、時計をしばらく着用しないときにリューズを位置 (III) に引き出しておきます。

電池が消耗した場合は、ムーブメントに損傷を与えることのないように、ただちに電池の交換を行う必要があります。

時計の電池の交換は必ず RAYMOND WEIL 正規販売店で行ってください。

